

新製品

**【国内初】クラス最小設置面積で最大4台のEV充電に対応
エネマネも可能な「大容量180kW急速充電器」を販売開始****■ 要旨**

株式会社ダイヘンは、クラス最小※設置面積で最大4台のEV充電に対応する「大容量180kW急速充電器」を販売開始します。

本製品は、受電設備に応じた最適な大電力急速充電が可能だけでなく、当社独自の自律分散協調制御技術「Synergy Link」(シナジーリンク)搭載によりお客様の既設システムや再生可能エネルギー関連機器など、様々な設備と連携したエネルギーマネジメントシステム(以下、EMS)が容易に構築できます。

今回、本製品をラインアップに加え、当社は幅広い出力に対応するプラグイン充電器(普通・急速)からワイヤレス充電、走行中充電に至るまで、あらゆる充電ニーズにお応えする「EV充電システム総合メーカー」として、社会のEV普及促進に貢献してまいります。

※当社調べ

■ 開発の背景

「2050年脱炭素社会」の実現に向け、企業や自治体を中心にEVの活用が拡大しています。今後は、新型車両における車載蓄電池の大容量化やバス・トラックといった大型車両のEV化などを背景に、特に大電力による急速充電の需要拡大が予想されており、急速充電器の設置台数は2035年に2021年比約3倍の2万4千台になると言われています。(富士経済「EV・PHV向け充電インフラ普及動向調査」)また、高速道路のサービスエリアのように急速充電器が公共設置される場合、充電待ちのために発生する渋滞や充電の集中による電力ピークの発生(コスト上昇)などが課題となっており、それらを解決するために「複数台の急速充電とエネマネの両立」が不可欠なものとなっています。

■ 製品の特長**1. 「複合型マルチプラグ充電」(特許出願中)により充電渋滞を軽減**

- ・1プラグ最大90kW(合計180kW)をEV2台に同時出力可能
- ・プラグを2本追加することでEV4台の急速充電に対応可能

2. 設置コストの低減

- ・クラス最小設置面積(0.46㎡)で設置工事にかかるコストを低減
- ・1台の充電器で4カ所の駐車スペースの充電に対応

3. エネマネ対応

- ・充電の集中による電力ピークの発生(コスト上昇)を抑制
- ・既設システムや太陽光発電・蓄電池システムと連携した施設全体のEMS構築が可能
- ・機器の増設・入替が容易で、将来的な脱炭素化の取り組みにも柔軟に対応可能



180kW急速充電器

※仕様・外観は今後変更する場合があります。

■ 販売計画

- ・受注開始日 2022年6月
- ・販売予定台数 50台/年

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社ダイヘン 充電システム事業部 TEL: 06-7167-6953